



桐花

大槌町立吉里吉里学園
 小学部 通信 No17
 令和5年12月25日
 文責 藤井

吉里吉里学園小学部の校報「桐花」は右のQRコードを読むことによってカラー版をご覧いただくことができます。(大槌応援団サイトへ) →



子ども達が様々な活動で表彰を受けていますので紹介いたします

「住み良い町づくり作文・心の温もり」表彰



大槌町で毎年行われている「住み良い町づくり作文コンクール・心の温もり」に本校3名の児童の作文が入賞し表彰を受けました。当初11月29日に「おしゃっち」で表彰式が行われる予定でしたが、インフルエンザの流行で全体での表彰式が中止となり、12月7日に大槌町教育委員会教育長松橋文明様ご来校し、授賞式を本校校長室で執り行いました。

優秀賞 三浦桃歌さん 関谷蒼羽さん
 佳作 植田真子さん

「第55回釜石大槌地区読書感想文コンクール」表彰



優秀賞 岡本伊桜さん

優良賞 小野寺桜風さん

優良賞 川口海翔さん

釜石大槌地区の全小学校からの応募の中3名が表彰を受けました。読書は「心の栄養」です。これからもたくさん本を読んでいろいろなことを考えたり感じたりできる人になってほしいと思います。

「第43回全日本空手道連盟剛柔会宮城県選手権大会」表彰



剛柔流空手道の会派の1つである「剛柔会」の大会で、本校児童2名が表彰を受けました。空手道を通して心身を鍛えたくましく育ててほしいと思います。

組手3年女子3位 平野カノアさん

組手5年男子3位 平野全さん

募金活動にご協力ありがとうございました



赤い羽根募金の贈呈

12月19日(火)「大槌町社会福祉協議会」より、瀧澤さんと菊池さんにご来校いただき、臨時全校朝会を開き「赤い羽根募金」の贈呈式を行いました。

児童会では募金活動を行うために、事前に「募金の目的や集まったお金の使い道」を調べ、児童朝会でクイズやスライドで全校の児童に伝えてくれました。

今年度も「ユニセフ募金」と「赤い羽根募金」の2種類に取り組み2万8千132円を善意の心と一緒に届けることができました。ご家庭のご協力に感謝致します。

2学期もありがとうございました

コロナウイルス感染により学校閉鎖を3日間行った事により、2学期の終業式は本日25日となりましたが2学期も無事に終わることが出来ました。小中合同での文化祭や避難訓練、学校公開と様々な活動が行われ、その都度地域の方々や保護者の皆様にご理解と多大なるご協力をいただいた事に感謝申し上げます。

冬休みは22日間ですが、子ども達が「家庭での役割」を持ち、自分が立てた「目標を達成できる冬休み」になるよう指導し、子ども達の自立の心を育てたいと思います。

～校長 2学期終業式のあいさつより～

さあ いよいよ 明日から 冬休みですね。校長先生が夏休みに入るときに話した事をおぼえていますか。「夏休みは家族の一員として、家族のためになることを自分で考えてやってみよう」という内容でした。この事はぜひ、冬休みも続けて行ってほしいと思います。

さらに、今年の冬休みは「自分のやりたいことを見つけて挑戦する目標」を決めてほしいと思います。

突然言われてもなかなか思いつかないかもしれませんが、もう学級で計画を立てる時に考えている人もいるかもしれませんね。まだ考えていない人は、12月31日の大晦日までに考えておいて、1月1日からやってみるといいですね。(一年の計は元旦にあり)

挑戦することを決めて取り組むポイントは

「毎日やること 大人に言われなくてやること」です。やり遂げたら、それを自分の自慢にしてほしいと思います。

「毎日食べた後の後片付けをしました。」

「毎日漢字2つを覚えて、冬休み中に30の漢字を新しく書けるようになりました。」

「毎日道路のごみを拾いました。」

「毎日1回小さな親切をしました。」・・・

何もすごく大きなことでなくていいのです。

「毎日できて、大人に言われなくてやり遂げてください」

3学期が始まったら、その自慢を校長先生に教えてください。

自分で決めてやり遂げ自慢できるようになったら、それは「自信」になります。

自信を持つことが出来た人は、勉強や友達と仲よくできる力につながります。

冬休み明け、自信をつけた皆さんに会えることを楽しみにしています。

